

新型コロナウイルスワクチン接種の実施について

1. 概要

新型コロナウイルスのワクチン接種については、予防接種法に基づき、厚生労働大臣の指示のもと、市区町村が主体となって実施する。

2. 接種対象者

まず、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者から接種を開始し、接種対象者を段階的に拡大しながら実施する。

※使用するワクチンについて、薬事承認がされていないため、現時点において接種可能な年齢は未定です。

※本市の65歳以上の人口…49,816人（令和2年12月31日現在）

3. 使用するワクチン

メーカー	接種回数 (接種間隔)	提供数	備考
ファイザー	2回 (21日)	1億4,400万 (7,200万人分)	超低温(-75℃)での保管が必要
モデルナ	2回 (28日)	5,000万 (2,500万人分)	超低温(-20℃)での保管が必要
アストラゼネカ	2回 (28日)	1億2,000万 (6,000万人分)	

※いずれのワクチンも薬事承認前のため、現時点で想定される内容

※3月の接種開始時点では、現在承認申請がされているファイザー社製ワクチンが使用される見込み

4. 実施体制

(1) コールセンター（業務委託予定）

業務内容…集団接種の予約受付及び相談業務（ただし、副反応等の専門的な相談は、県が設置する相談窓口で対応）

※国が作成するワクチン円滑化支援システム（V-SYS）により、ワクチンの供給量や接種数を管理しながら接種を行うため、接種は完全予約制となる。

(2) 接種体制

集団接種と医療機関での個別接種にて実施する。

接種開始当初に使用することが見込まれるファイザー社製ワクチンは、国から無償提供されるディープフリーザー（超低温冷凍庫）での保管が必要になり、ディープフリーザーを設置できる医療機関が限定されることから、4月から当面の

期間は、集団接種を重点的に実施し、接種機会を確保する。

※栃木市へのディープフリーザーの提供台数…10台（2月以降順次提供予定）

※ディープフリーザーを設置する施設から、最大3施設までワクチンを分配することが可能（予定）

- ① 集団接種…市有施設を会場として、下都賀郡市医師会及びとちぎメディカルセンター、西方病院等と連携し実施する。
会場については、各地域の保健福祉センター等を想定する。
- ② 個別接種…市内の協力医療機関にて実施する。

5. スケジュール（予定）

- 2月3日（水）…臨時会
- 3月上旬……………コールセンター設置
- 3月中旬以降………高齢者へ接種券発送
- 4月以降……………高齢者への接種開始
- 4月下旬……………65歳未満の方への接種券発送

6. 予算

- 887,563千円（令和2年度～3年度の総額）
- （内訳）接種に係る経費……………721,339千円
- その他の経費……………166,224千円

7. ワクチン接種体制

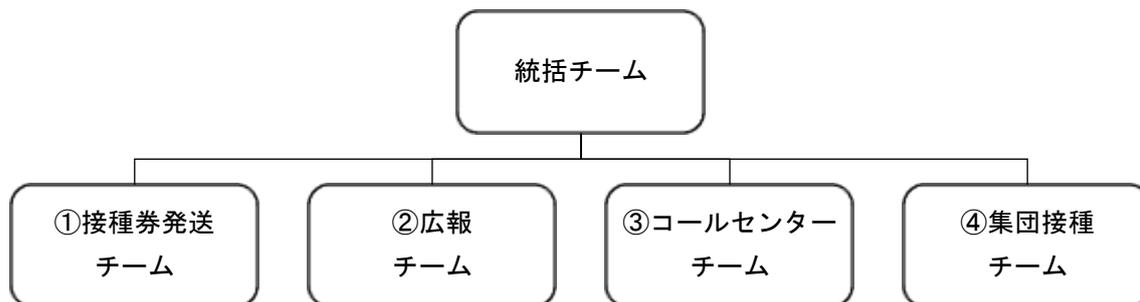
ワクチン接種に関連して多種多様な事務が生じることが予想されるため、必要に応じて、各部からの動員職員によるチームを組織し、全庁的な体制で実施する。

(1) 統括チーム等の設置

新型コロナウイルスワクチン接種に向けた総合調整等を担う統括チームを設置し、下部組織として、接種券発送チーム、広報チーム、コールセンターチーム及び集団接種チームを順次編成する。

- ① 構成：チームリーダー（健康増進課長）
 サブリーダー（健康増進課主幹（ワクチン担当））
 チーム員8名（健康増進課予防係及び動員職員で構成）
- ② 設置時期：1月28日（木）から
- ③ 設置場所：栃木保健福祉センター
- ④ 業務内容：ワクチン接種に向けた総合調整等

(2) 体系図



① 接種券発送チーム

- ・ 設置場所：職員休憩室（本庁舎 6 階）
- ・ 業務内容：接種券発送及び異動者（転出転入等）の把握等
- ・ 構成人数：5～10 名程度

② 広報チーム

- ・ 業務内容：ワクチン接種に係る広報（新聞折込チラシや市ホームページ、ケーブルテレビ、FMくらら等）等
- ・ 構成人数：5～10 名程度

③ コールセンターチーム

- ・ 設置場所：職員休憩室（本庁舎 6 階）
- ・ 業務内容：コールセンター運営マニュアルの作成及び運営責任者
- ・ 構成人数：3～5 名程度

④ 集団接種チーム

- ・ 業務内容：集団接種会場の運営責任者、会場整理、駐車場誘導等
- ・ 構成人数：10～15 名程度

【問合せ】保健福祉部 健康増進課
担当：石川
TEL0282-25-3511